

発議第1号

議案第39号 平成31年度和歌山市一般会計予算に対する附帯決議案

議案第39号、平成31年度和歌山市一般会計予算に対する附帯決議案をするものとする。

平成31年3月20日提出

提出者 和歌山市議会議員

吉本昌純

中尾友紀

宇治田清治

山本忠相

山野麻衣子

議案第39号 平成31年度和歌山市一般会計予算に対する附帯決議案

議案第39号、平成31年度和歌山市一般会計予算には、市民会館（仮称）市民文化交流センターの建設工事に伴う整備工事請負費を初め、有吉佐和子邸の復元のための設計委託料、つつじが丘テニスコート周辺整備など、多額の予算を必要とする幾つもの施設整備に関する予算が計上されている。

さらに、新年度以降も、和歌山城や中央卸売市場の整備など、施設の老朽化に伴う建てかえや新規の大規模な公共事業が予定されている。

特に、市民会館（仮称）市民文化交流センターの整備については、これまでも、議会に報告があるたびに、事業内容の変更や事業費が増額されてきた経緯もある中、事ここに至って、整備工事に係る入札が二度も不調となるなど、工事着手のめどすら立たない状況である。

加えて、さきの経済文教委員会において、中央卸売市場の再整備に係る事務手続や議会手続について厳しく指摘してきた経緯もあり、有吉佐和子邸の復元地の選定過程を見ても、議会に対する十分な説明や議論の機会がないまま拙速に事業が進められ、市民の期待に応えられるような事業効果が得られるのか甚だ疑問である。

以上指摘したように、今後、大規模な公共事業が予定される中、これまでのような事務の進め方で、果たして、将来にわたり、持続可能な財政運営が保てるのか非常に危惧されるところである。

よって、今後予定している各種事業を進めるに当たっては、適正な事務執行が行えるよう、組織体制の強化を図るとともに、事業目的を精査し、市民及び議会に対して十分な説明、議論の機会を設けた上で事業を進めることを強く求めるものである。

以上決議する。